

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	11月				12月				1月			2月			3月			備考
				23	30	7	14	21	28	4	11	下	上	中	下	前	後				
固体廃棄物の保管管理計画	1. 発生量低減対策の推進	持込抑制策の検討	(実績) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討	検討・設計	発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討																
			(予定) ・発電所構内における資機材等の貸出運用開始に向けた検討	現場作業																	
	2. 保管適正化の推進	ドラム缶保管施設の設置	(実績) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計 ・準備工事(試掘、鋤取り)	検討・設計	固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計															<ul style="list-style-type: none"> ・H26.8.12:安全協定に基づく事前了解【規制庁関連】 ・H26.8.13:実施計画変更認可申請 	
			(予定) ・固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設計 ・準備工事(試掘、鋤取り) ・本体工事(土工事)(開始時期調整中)	現場作業	準備工事(試掘、鋤取り)																H29年2月竣工予定
		保管管理計画の更新	(実績) ・更新計画の策定	検討・設計	更新計画の策定																
			(予定) ・更新計画の策定	現場作業																	
		雑固体廃棄物の減容検討	(実績) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	検討・設計																雑固体廃棄物焼却設備: H27年度10月稼働予定 ・建屋工事(-H27年6月) ・機電工事(-H27年6月) ・試運転期間(H27年7月~H27年10月) 【主要工事工程】 ・基礎工事完了: H25.10.5 ・上部躯体工事: H25.8.24~ ・1階P.C柱・梁取付完了: H25.12.12 ・2階P.C柱・梁取付完了: H26.4.7 ・使用前検査(地上躯体1階~3階、焼却設備、換気空調設備) H26.12.8~9	
			(予定) ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる建屋工事 ・雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事	現場作業	雑固体廃棄物焼却設備にかかる機電工事																
		覆土式一時保管施設の3,4槽の設置	(実績) ・覆土式一時保管施設3,4槽の設置に向けた準備 ・設置工事(3槽)	検討・設計	覆土式一時保管施設3,4槽の設置に向けた準備															<ul style="list-style-type: none"> ・H26.8.12:安全協定に基づく事前了解 	
			(予定) ・覆土式一時保管施設3,4槽の設置に向けた準備 ・設置工事(3槽)	現場作業	設置工事(3槽)																
		一時保管エリアの追設/拡張	(実績) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備	検討・設計	一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備																
			(予定) ・一時保管エリアの追設/拡張に向けた準備	現場作業																・H26.10.24:エリアP1、P2、E2運用開始	
3. 瓦礫等の管理・発電所全体から新たに放出される放射性物質等による敷地境界線量低減		(実績) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続	検討・設計	一時保管エリアの保管量、線量率集計																	
		(予定) ・一時保管エリアの保管量確認/線量率測定および集計 ・ガレキ等の将来的な保管方法の検討 ・線量低減対策検討 ・ガレキ・伐採木の保管管理に関する諸対策の継続 ・伐採木一時保管槽へ受入(枝葉)(開始時期調整中)	現場作業	ガレキ等の将来的な保管方法の検討																	
4. 水処理二次廃棄物の長期保管等のための検討		(実績) 【研究開発】長期保管方策の検討 ・長期保管のための各種特性試験	検討・設計	【研究開発】長期保管のための各種特性試験																	
		(予定) 【研究開発】長期保管方策の検討 ・長期保管のための各種特性試験	現場作業																		
処理・処分計画	固体廃棄物の性状把握	(実績) 【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)	検討・設計	【研究開発】廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査																	
		(予定) 【研究開発】固体廃棄物の性状把握等 ・固体廃棄物のサンプリング・分析方法検討 ・廃ゼオライト・スラッジ・ガレキ等の性状調査 ・JAEAにて試料の分析(現場: JAEA東海)	現場作業	【研究開発】固体廃棄物のサンプリング															2月下旬に分析試料をJAEAへ輸送する予定		

ガレキ・伐採木の管理状況(2014.11.30時点)

保管場所	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	種類	保管方法	保管量 ¹		前回報告比 ² (2014.10.31)	変動理由 ³	エリア 占有率
固体廃棄物貯蔵庫	0.03	ガレキ	容器	5,100	m ³	+100	m ³	43%
A:敷地北側	0.45	ガレキ	仮設保管設備	2,900	m ³	+100	m ³	41%
C:敷地北側	0.01未満	ガレキ	屋外集積	48,800	m ³	+4,400	m ³	86%
D:敷地北側	0.01	ガレキ	シート養生	2,600	m ³	0	m ³	88%
E:敷地北側	0.02	ガレキ	シート養生	4,200	m ³	0	m ³	27%
F:敷地北側	0.01	ガレキ	容器	600	m ³	0	m ³	99%
			屋外集積	2,000	m ³	+1,600	m ³	27%
J:敷地南側	0.03	ガレキ	屋外集積	4,700	m ³	0	m ³	98%
L:敷地北側	0.01未満	ガレキ	覆土式一時保管施設	8,000	m ³	0	m ³	100%
O:敷地南西側	0.03	ガレキ	屋外集積	26,200	m ³	+2,200	m ³	95%
Q:敷地西側	0.12	ガレキ	容器	5,700	m ³	0	m ³	93%
U:敷地南側	0.01未満	ガレキ	屋外集積	700	m ³	0	m ³	100%
W:敷地西側	0.03	ガレキ	シート養生	20,300	m ³	+100	m ³	69%
合計(ガレキ)				131,900	m ³	+8,600	m ³	74%
G:敷地北側	0.01未満	伐採木	伐採木一時保管槽	7,300	m ³	0	m ³	27%
H:敷地北側	0.01	伐採木	屋外集積	14,300	m ³	+100	m ³	81%
I:敷地北側	0.02	伐採木	屋外集積	10,500	m ³	0	m ³	100%
M:敷地西側	0.01未満	伐採木	屋外集積	37,600	m ³	0	m ³	83%
T:敷地南側	0.01	伐採木	伐採木一時保管槽	10,100	m ³	0	m ³	44%
V:敷地南側	-	伐採木	屋外集積	0	m ³	0	m ³	0%
合計(伐採木)				79,700	m ³	+100	m ³	58%

1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

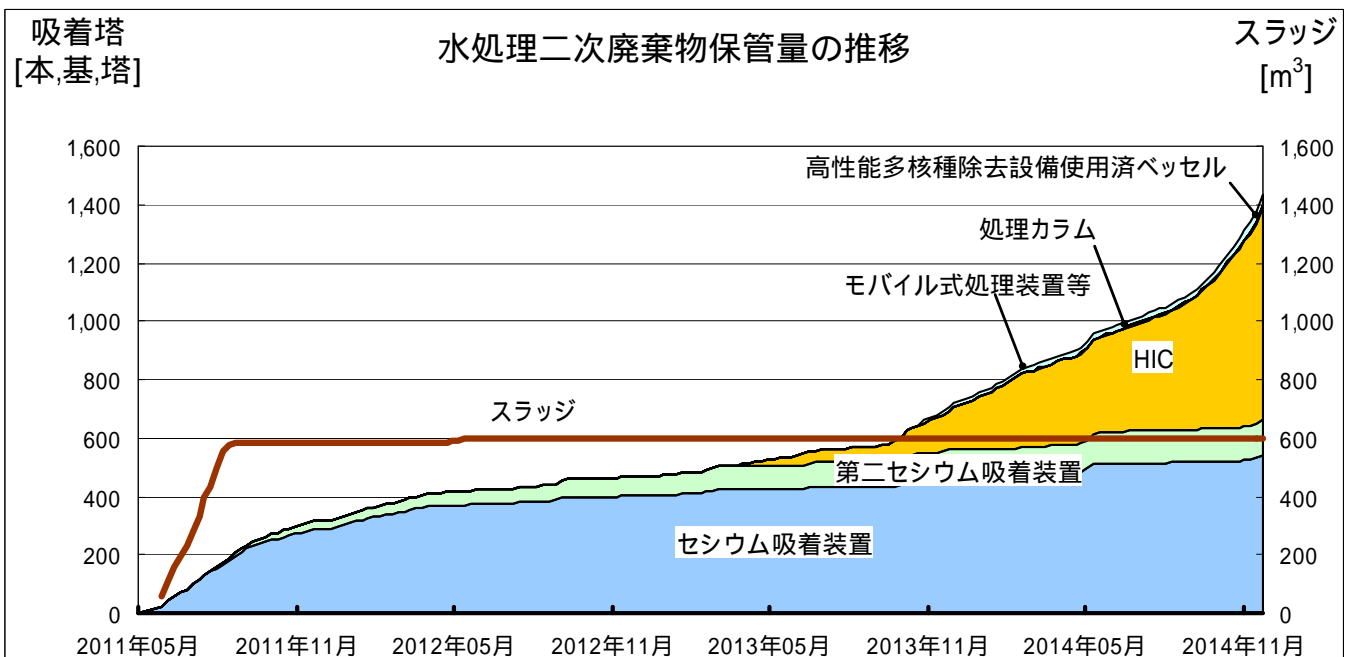
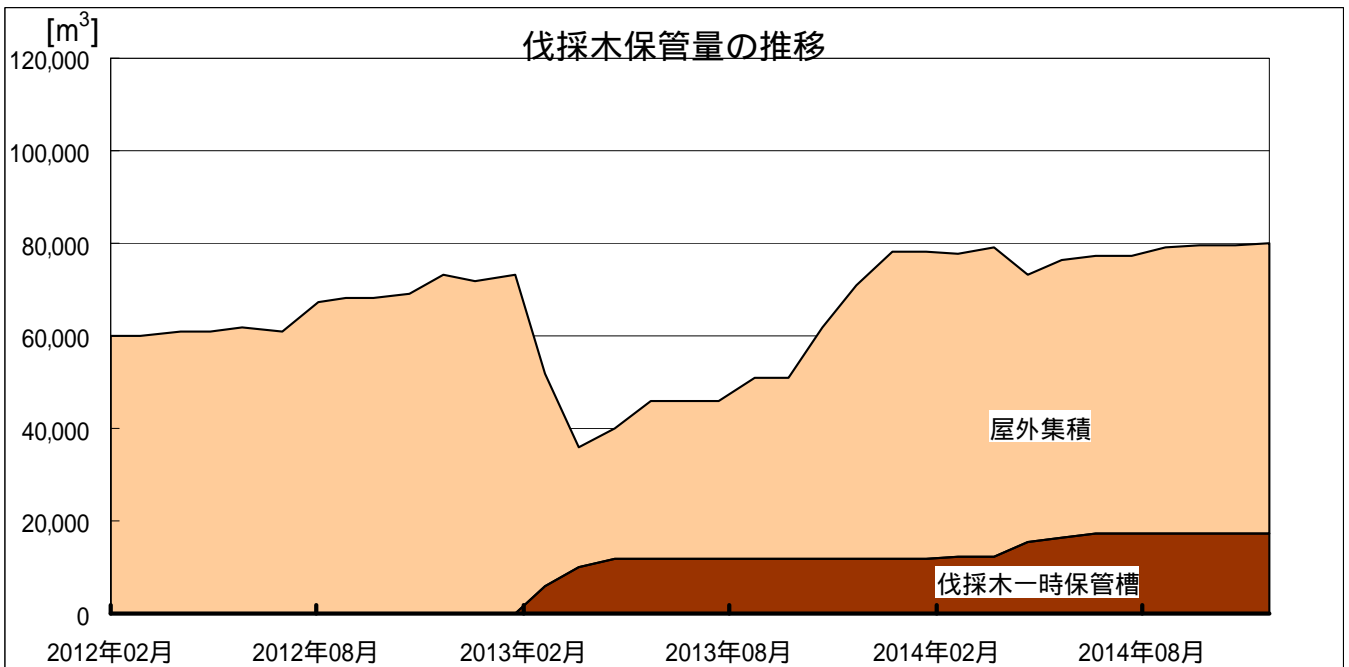
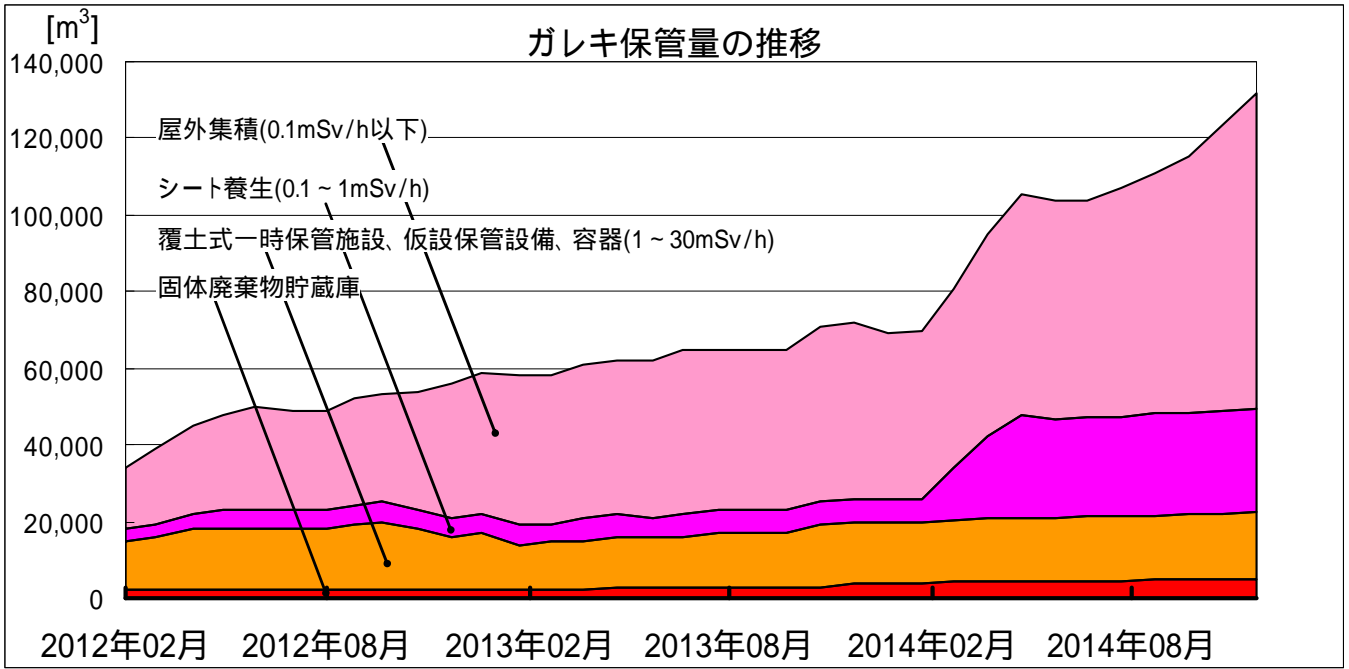
2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

3 主な変動理由: 3号建屋瓦礫撤去関連工事 凍土遮水壁設置関連工事 1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事
タンク設置関連工事 多核種除去設備増設関連工事 焼却対象物の集約作業 等

水処理二次廃棄物の管理状況(2014.12.23時点)

保管場所	種類	保管量		前回からの増減 (2014.11.25)	保管量/保管容量	
使用済セシウム吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	540	本	+22 本	43%	
	第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	120	本	+4 本		
	多核種除去設備等保管容器	既設	592	基		+52 基
		増設	140	基		+64 基
	多核種除去設備処理カラム	既設	3	塔		0 塔
	高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	1	本		+1 本
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		37	本	+6 本		
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0 m ³	85%	





ガレキ・伐採木・水処理二次廃棄物の保管におけるトピックス(H26年12月25日)

分類	保管量(m ³)	保管容量(m ³)	占有率(%)	トピックス	
	H26年11月30日時点(H26年10月31日報告からの増減)				
ガレキ	屋外集積 (0.1mSv/h未満)	82,400 (+8,200)	97,200	85	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、工事で発生した廃材。 ・エリアP1運用開始(H26年10月24日)
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	27,100 (+100)	48,300	56	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、工事で発生した廃材、建屋内に設置していた撤去機器、水処理で使用したホース類及び廃車両。 ・今後発生量の増加が見込まれるため、廃棄物発生量の抑制や既保管物の減容処理を進めていく。 ・エリアP2運用開始(H26年10月24日)
	覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	17,200 (+100)	21,900	79	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去されたガレキ。 ・1号機ガレキ撤去に向けて、覆土式一時保管施設3,4槽設置(8,000m³)の安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・エリアE2運用開始(H26年10月24日) ・覆土式一時保管施設3槽設置工事開始(H26年11月10日)
	固体廃棄物貯蔵庫	5,100 (+100)	12,000	43	<ul style="list-style-type: none"> ・主なガレキは、原子炉建屋上部等で撤去された高線量ガレキ。 ・第9棟設置(ドラム缶 約11万本)に向けて安全協定に基づく事前了解(H26年8月12日)。 ・第9棟設置に伴う実施計画変更認可申請(H26年8月13日)
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	62,400 (+100)	88,200	71	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエリアP1造成により伐採した幹・根を受入。 ・その他工事により発生した幹・根を随時受入中。
	一時保管槽 (枝・葉)	17,400	50,100	35	<ul style="list-style-type: none"> ・当面受入を計画していた枝葉については、チップ化した後、エリアTの伐採木一時保管槽へ受入完了。

保管量、保管容量については端数処理で100m³未満を四捨五入

分類	保管量	保管容量	占有率(%)	トピックス	
	H26年12月23日時点(H26年11月25日報告からの増減)				
水処理二次廃棄物	使用済ベッセル (セシウム吸着装置使用済ベッセル、第二セシウム吸着装置使用済ベッセル、多核種除去設備等の保管容器及び処理カラム、高性能多核種除去設備使用済ベッセル、モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類)	1,433本 (+149)	3,317本 (+768)	43	<ul style="list-style-type: none"> ・多核種除去設備の高性能容器を保管する使用済吸着塔一時保管施設第三施設(容量3,456本/18ブロック)について実施計画変更認可(H26年11月20日) ・使用前検査が終了し使用承認を得た範囲(768本/4ブロック)を運用開始(H26年12月9日) <p style="text-align: right;">192本/ブロック</p>
	スラッジ	597 m ³	700 m ³	85	<ul style="list-style-type: none"> ・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。